

様式 1 講演者の COI 申告書

講演に関連して、開示すべきCOI関係にある
企業等を項目ごとに記載する

(抄録登録時から遡って過去 1 年間以内の COI 状態を申告)

項目	該当の状況	有の場合、企業・団体名の記載
① 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職などの有無と報酬額 (1つの企業・団体から年間 100 万円以上のものを記載)	(講演者) 有・無	
	(親族) 有・無	
② 株の保有と、その株式から得られる利益 (1つの企業の1年間の利益が 100 万円以上、あるいは当該株式の 5%以上保有のものを記載)	(講演者) 有・無	
	(親族) 有・無	
③ 企業や営利を目的とした団体から特許使用料として支払われた報酬 (1つにつき年間 100 万円以上のものを記載)	(講演者) 有・無	
	(親族) 有・無	
④ 企業や営利を目的とした団体より、会議の出席(発表)に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当、講演料など (1つの企業・団体からの年間合計 50 万円以上のものを記載)	(講演者) 有・無	
⑤ 企業や営利を目的とした団体がパンフレットなどの執筆に対して支払われた原稿料 (1つの企業・団体からの年間合計 50 万円以上のものを記載)	(講演者) 有・無	
⑥ 企業や営利を目的とした団体が提供する研究費(治験、委託受託研究、共同研究)など (1つの企業・団体から支払われた総額が年間 200 万円以上のものを記載)	(講演者) 有・無	
⑦ 企業や営利を目的とした団体が提供する奨学寄付金(奨励寄付金)などの有無 (1つの企業・団体から支払われた総額が年間 200 万円以上のものを記載)	(講演者) 有・無	
⑧ 企業や営利を目的とした団体が提供する寄附講座 (企業等からの寄附講座に所属している場合に記載)	(講演者) 有・無	
⑨ 研究、教育、診療とは無関係な旅行、贈答品など (1つの企業・団体から年間 10 万円以上のものを記載)	(講演者) 有・無	

※(親族)・・・講演者の配偶者、一親等内の親族、または収入・財産を共有する者の申告事項

(本 COI 申告書は抄録登録後 2 年間保管されます)

(「老年歯科医学研究の利益相反(COI)に関する指針」の細則 第 1 条 第 2 項)

(申告日) 年 月 日

講演する学術大会または研修会等 _____

講演者(所属) _____

(自署) _____

* 必要事項を記載し、講演者が自署した本書を PDF で大会校に提出し、オリジナルは提出者が保管すること